

音

12月19日に、アンサンブル・レネットの皆さんにご来校いただき、音を通した表現活動を行いました。まさに本校が向上を目指す「伝える力・表現する力」です。

レネットの寺田さんの声かけでスタートします。手を叩きながらリズムを取り、それに乗せて都道府県

名や国名を答える。レネットさんの奏でる音楽に合わせてウォーキングを行い、突然出されるテーマを身体で表現する。楽器体験からドラムロール体験。腹式呼吸を練習した後、校歌を合唱。午後の部は、楽器が活躍しました。ホールニューワ



ールド・情熱大陸・“ポレロ”に合わせて楽器紹介・猫の二重奏・威风堂々の演奏。他にも指揮者体験やボディパーカッションと盛りだくさん。ピア樽ポルカ。ピア樽???ピア樽は楽器ではありません。しかし、叩けば音が鳴る。そのリズムに生徒たちも身体が踊ります。結びは“台所狂騒曲”キッチン用品で音楽を創り出します。コップに水、お鍋、鍋のフタ、ボールにレードル、フライパンにフライ返し等全てが楽器となり音を奏でるのです。代表生徒が演奏体験をしました。音がずれようとリズムがずれようと、とにかく楽しい。フロアで観ている生徒たちも手拍子で演奏者となり場面を創り上げました。「身の回りにあるものはすべて楽器となる」「音があれば音楽を創り出せる」「音は笑顔を創り出す」と教わりました。楽しく衝撃的な1日となりました。

22日、1年生は、音をたよりにするパラスポーツを体験しました。ブラインドサッカーです。ボールが



者の皆さんへの理解を深め、インクルーシブな社会の実現に繋げることを目的としますが、視覚情報を遮断する

ことで「見えない状況でのコミュニケーション」「相手を思いやる想像力」などを体感し、普段気づきにくいチームワークの大切さや、他者との共生など新たな発見を促します。始めは目隠しをしない仲間の声をたよりに移動の練習。ボールの鈴の音を聞くために低い姿勢になり転がってくるボールに止める練習。次は相手が転がしたボールをトラップする練習と段階を踏みました。音が仲間をつなぎました。

21日、前々日の音楽体験の余韻が残り、音楽に触れたいと家族を誘い、カラオケに行きました。歌い始めると画面に音程バーが現れ、たのんでもいないのに点数をはじき出すのです。音のずれたことが一目瞭然。点数の低さに肩を落とし暗い表情となり…。本人はショックですが、音がずれたことによって家族は笑顔になったのです。音がずれようと新たな気持ちで次の曲をスタートしました。

まもなく新年が おとずれ ます。3学期新たな気持ちでスタートです。